Sat. Jul 18, 2015

第7会場

教育セミナー（多領域専門職部門）

教育セミナー2（多領域専門職部門）
心臓移植におけるドナーおよびレシピエント・コーディネーターの役割

座長:
久保田 香 (大阪大学)
添田 英津子 (慶應義塾大学)
8:55 AM - 9:35 AM 第7会場 (1F シリウス)

[TRES02-01] ドナーコーディネーターの役割と実際

○高橋 絹代[1,2], 高田 正信[1], 飯田 博行[1], 前田 昭治[1], 若杉 雅浩[2], 奥寺 敬[2] （1.富山県移植推進財団、2.富山大学大学院危機管理医学（救急・災害医学））

[TRES02-02] レシピエントコーディネーターの役割と実際　～レシピエントコーディネーターって何する人？～

○遠藤 奈津美 （東京女子医科大学　移植支援室）

©Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery

教育セミナー（多領域専門職部門）

教育セミナー2（多領域専門職部門）

心臓移植におけるドナーおよびレシピエント・コーディネーターの役割

座長:

久保田 香 (大阪大学)

添田 英津子 (慶應義塾大学)

Sat. Jul 18, 2015 8:55 AM - 9:35 AM 第7会場 (1F シリウス)

TRES2-01～TRES2-02

所属正式名称：久保田香(大阪大学医学部附属病院　看護部移植医療部)、添田英津子(慶應義塾大学看護医療学部)

[TRES02-01] ドナーコーディネーターの役割と実際

○高橋 絹代[1,2], 高田 正信[1], 飯田 博行[1], 前田 昭治[1], 若杉 雅浩[2], 奥寺 敬[2] （1.富山県移植推進財団、2.富山大学大学院危機管理医学（救急・災害医学））

[TRES02-02] レシピエントコーディネーターの役割と実際　～レシピエントコーディネーターって何する人？～

○遠藤 奈津美 （東京女子医科大学　移植支援室）

©Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery

(Sat. Jul 18, 2015 8:55 AM - 9:35 AM 第7会場)

[TRES02-01] ドナーコーディネーターの役割と実際

○高橋 絹代[1,2], 高田 正信[1], 飯田 博行[1], 前田 昭治[1], 若杉 雅浩[2], 奥寺 敬[2] （1.富山県移植推進財団、2.富山大学大学院危機管理医学（救急・災害医学））

ドナーコーディネーター（CO）には、院内COと都道府県CO、ネットワークCOがある。その活動は、日常の啓発業務から臓器提供の希望があった場合のあっせんまでと幅広い。あっせん時は、患者及び家族の意思尊重、家族ケア、主治医・担当看護師への協力、支援、病院内の調整、病院外の各機関との連絡調整などを行う。特に初動において適応の判断が行われ、家族に臓器提供の選択肢提示が行われる場合と、家族の申し出によって提供の過程が始まる場合は留意するポイントが変わる。また、病院の臓器提供経験数、臓器提供支援のための組織の有無によってもマネージメントは変わる。小児の臓器提供の場合では、虐待の否定の確認に大きなエネルギーを必要とする。児童相談所や警察と連絡をとり、司法解剖の対象ではない事を確認。院内で実施する虐待防止委員会や倫理委員会への準備も行が行われる。こうした場面への支援も必要に応じ行う。また、法的脳死判定では、成人との違う部分を明らかにし、判定が円滑に行えるようにサポートを行う。そして、家族ケアにおいては、関わるスタッフで家族の状況を多面的に捉え、アセスメントとディスカッションを繰り返し、チーム医療を実践していく。スタッフケアの観点から見た場合、小児の臓器提供は社会的に注目度が高く、守秘義務を意識下に、緊張を強いられる中で医療が展開されていく。脳死下臓器提供では死亡時間、摘出時間、退院の時間が概ね予測が付くという、通常とは違った状況となる。こうした事柄に対して、説明を行い、その場に立ち会う心の準備ができる情報提供も必要である。つまり、COの役割は、適正な医療の実施である。連続的な医療の中で訪れた終末期において、患者と家族の意思の尊重が行え、多角的な組織展開を行う事が求められている。

(Sat. Jul 18, 2015 8:55 AM - 9:35 AM 第7会場)

[TRES02-02] レシピエントコーディネーターの役割と実際　～レシピエントコーディネーターって何する人？～

○遠藤 奈津美 （東京女子医科大学　移植支援室）

移植医療においては、提供者である「ドナー」と受容者である「レシピエント」の２者が必ず存在しています。心臓移植レシピエントコーディネーターは、おおまかにいうと、レシピエントとなる患者、家族に対して、移植に関わる全ての時期に関して支援を行っていく役割を持っています。心臓移植は、脳死からの臓器提供に限られるため、待機期間が長く、予定手術をすることができません。また、長期間の待機を乗り越えて移植を実施したあとも、生涯にわたり免疫抑制療法が必要であり、その間様々な合併症を抱えることも少なくありません。このような現状で、レシピエントコーディネーターは移植手術にのぞむ患者、家族に対し、移植という治療を希望するかどうかという意思決定の段階から支援をはじめます。また、患者には長期にわたる待機から移植後への流れのなかで、その時々の状況に合わせた様々な治療が行われるため、非常に多くの医療職種が介入してきます。そして皆同じ目的を持っています。それは、「心臓移植まで患者の病状を良好な状態で維持する」、あるいは「移植心を安定させつつ合併症をコントロールする」です。このように、レシピエントを取り巻く医療チームは非常に大きくなる場合があり、患者、家族－医療者間、医療者－医療者間の調整を行うのもレシピエントコーディネーターの重要な役割となります。更に、小児期、若年期にあるレシピエントの場合には、家族や医療者だけでなく、患者をとりまく地域のコミュニティとの調整も必要となります。本セミナーでは、レシピエントコーディネーターの実際の活動を提示しつつ役割を整理していくことで、レシピエントコーディネーターが具体的にどんなことをしているのかを理解していただき、心臓移植を必要としている患者、家族の支援への連携を深めていきたいと思います。

©Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery